

積極的な性格の子が来てくれたので、ずっと明るい雰囲気でも過ごすことができました。一息つけているかな？と心配になったので、1 人になれる時間や横になれる時間を作ってあげたことを思い出します。またダブル台風が来ていて、天気を気にしていたことも思い出です。結果的にひどい台風ではなかったですが、安全を考慮し、小学校体験とおうち時間を満喫してもらいました。日本を体験してもらいたかったはずなのに、私の初体験も多く、刺激が多い日々となりました。

金曜日

通学班と共に登校、長女のクラスで朝の会。

1、2、4 時間目を次女のクラス、高学年英会話の授業に参加。

長女のクラスで給食準備、給食、掃除をして帰宅。

夕方から私の教室で交流会。

年長から小五まで 21 名の子供たちがそれぞれ好きな日本のお菓子を持ってくるイベント。

回転寿司、プリクラ、ゲーセン、フレッシュジュース。

どの子供達も日本語と英語ごちゃ混ぜで、積極的に交流する姿が印象的でした。

会話に困っても、着ている服に「Los Angeles」と書かれている子がいて、みんながにっこりする時も度々ありました。(複数人いました)

小学校ではニュージーランドの先生と会話するルーちゃんに子供達が目をまんまるくして見てました。また英語を母国語とするこどもたちも多く、楽しそうにしていました。

私の教室では、交流会後にとあるゲームのフレンド申請で、ルーちゃんの周りが大混雑しました。一緒にチームになって戦うために ID 交換をするのですが、みんな必死になってるーちゃんにアイディーを聞いたり保護者に確認している姿がありました。私だったらメアドを聞くのになぁと思い、時代の変化も感じました。

土曜日

名古屋文化モーニングへ。

おうちでマリオパーティー、敷地内に住むおばあちゃんちに畳の部屋や仏壇を見せに。

父親が紙いっぱいに聞きたいことをまとめていて、主に宗教や政治について熱心に聞いていました。親戚も集まってきて、交流会が開かれました。

本当に時間があっという間でしたが、濃厚な瞬間の連続で、自分の子供たちが毎晩お別れのことを考えては寝る前に泣いていました。お別れの瞬間は大丈夫でしたが、お別れの日の夜は写真を見返して、長女がわんわん泣いていました。親としては初めて見る娘の姿で成長を感じるとともに、かけがえのない経験をしたんだなぁと思いました。

主人も触発されて、今度はアメリカに会いに行こうと言っています。

当初は私だけそんな思いになるのかなぁと思っていたので、家族全員が同じ思いになれたことに少し驚きました。

ホストファミリーは、やってみないと感じれないかけがえのない経験ができると確信しました。

長女にシャワーの順番を聞くように聞いたら、「英語がしゃべれない」と言ったので、「シャワーナンバーワンツースリーって言ってみりん」と言ったら、「そんなんでもいいの」と驚きながら聞いて、「通じた」と喜んでいました。学校で習う英語とは大きく違いますが、伝えたい思いで伝わると言う経験ができたこともよかったです。

ホームステイに来てくれたルーちゃんの他の子たちとも今連絡を取り合っています。長女は時差を考慮しながらメッセージを送っています。

ホームステイ後も人と人との関わりを通じて、日々がより良くなるような気がします。岡崎市役所のおかげでご縁があったので感謝しきれません。このたびは本当にありがとうございました。